

学生派遣プログラム 「創業者出身地のふるさと活動隊」2017について

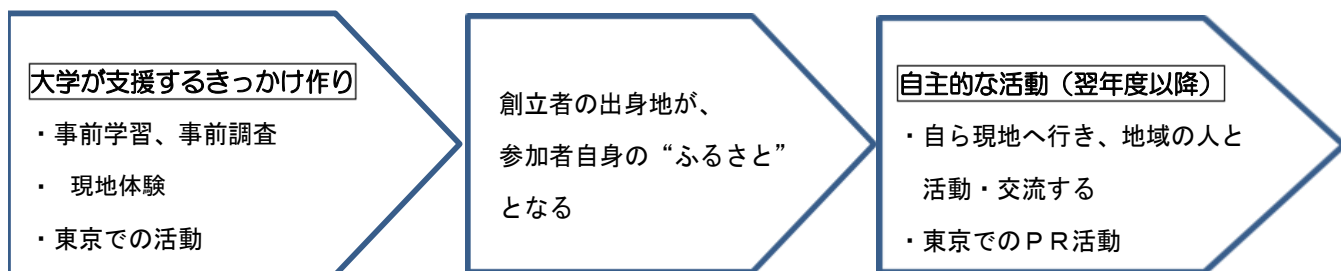
2010年に設置された社会連携機構のもとにおかれた地域連携推進センターでは、本学創業者出身地（鳥取県、同県鳥取市、山形県天童市、福井県鯖江市）と連携協力に関する協定を締結し、多様な連携事業を推進しています。

その取り組みの一つとして、2012年度からは創業者出身地への学生派遣プログラムを実施しています。このプログラムは、学生と地域の人々の交流・連携を通じて、創業者とその出身地について理解を深めることを目的としています。また、参加学生には、その地域を”第2のふるさと”と捉え、プログラム終了後も「創業者出身地のふるさと活動隊」として、地域活性化の取り組みに参加することを推奨しています。

2017年度のプログラムは、それぞれの地域の特色を出したテーマ設定を行い、参加者が活動を通じて見つけた地域や人の魅力、よりよい地域づくりのための提案などを「活動報告パネル」や「パワーポイント資料」にまとめて成果物としました。

1. 「創業者出身地のふるさと活動隊」について

「ふるさと活動隊」の活動任期は在学中とし、大学は参加者が創業者および創業者のふるさとを学ぶための支援・きっかけ作りを行います。参加者には、単年度での活動ではなく、在学期間をとおして創業者や地域への理解を深めることで、明治大学と地域をつなぐ架け橋となることを期待しています。



2. 2017年度の学生派遣（現地体験）プログラム

次のとおり実施しました。（詳細は「3. 活動内容および成果物紹介」参照）

（1）鳥取県、鳥取市

テーマ：創業者出身地への旅～明治大学と鳥取を繋ぐ道～

日程：8月28日（月）～9月1日（金）

参加者：5名（男1・女4）

（2）山形県天童市

テーマ：食の都・天童市のふるさと納税と果樹産業の魅力を学ぶ

日程：9月14日（木）～9月17日（日）

参加者：5名（男3・女2）

(3) 福井県鯖江市

テーマ：鯖江とともに、自ら考えて動く。「伝統を身近に。鯖江の魅力を伝え隊」

日程：9月15日（金）～9月18日（月）

参加者：11名（男4・女11）

※加えて、2016年度の鯖江市ふるさと活動隊3名（男1・女2）が明治大学で行うミーティングに参加し、現地活動経験に基づくアドバイス及び課題設定についての意見交換等を重ねた。

3. 現地体験後の活動

(1) 明治大学ホームカミングデー

日にち：10月22日（日）

内容：各地域物産展の販売補助および学生派遣プログラム活動報告会

「宮城浩蔵賞」受賞中学生キャンパス案内（天童市ふるさと活動隊が対応）

場所：リバティタワー2階（物産展スペース）

リバティタワー6階1065教室（活動報告会）

※「ホームカミングデー」は、明治大学の卒業生を招いて行う年1回の大学行事です。

当日は一般の方も含め、約4千人が来場しました。

※「宮城浩蔵賞」は、明治大学の創立者の一人、宮城浩蔵の名前を冠した天童市の表彰制度です。市内に4つある中学校からそれぞれ1名ずつ、品行方正・学業優秀・部活動や生徒会等で顕著な活躍をした生徒を天童市が選出して表彰します。2015年度から、受賞者をホームカミングデーにあわせて明治大学に招き、施設の見学や学生との交流、学長との懇談会を実施しています。

(2) 2017年度の活動ふりかえり

日時：12月12日（火）17時30分～19時45分

場所：アカデミーコモン8階308F教室

参加者：10名（鳥取4・天童5・鯖江1）

内容：2017年度に「ふるさと活動隊」として活動して楽しかったこと、つらかったこと、次年度以降のプログラムに期待することなどについての意見交換会（「4. 2017年度の活動ふりかえり記録」参照）

以上